

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、市民の定住意識や生活環境に対する評価、市政の各分野についての意向などを把握し、今後の行政施策の参考資料とするものである。

2. 調査の内容

- | | |
|----------|-------------------|
| (1) 調査地域 | 福生市 |
| (2) 調査対象 | 市内在住の満20歳以上個人 |
| (3) 標本数 | 1,000 |
| (4) 抽出方法 | 層化2段無作為抽出法(100地点) |
| (5) 調査方法 | 調査員による個別面接法 |
| (6) 調査時期 | 平成6年8月20日～9月11日 |
| (7) 調査機関 | 社団法人 新情報センター |

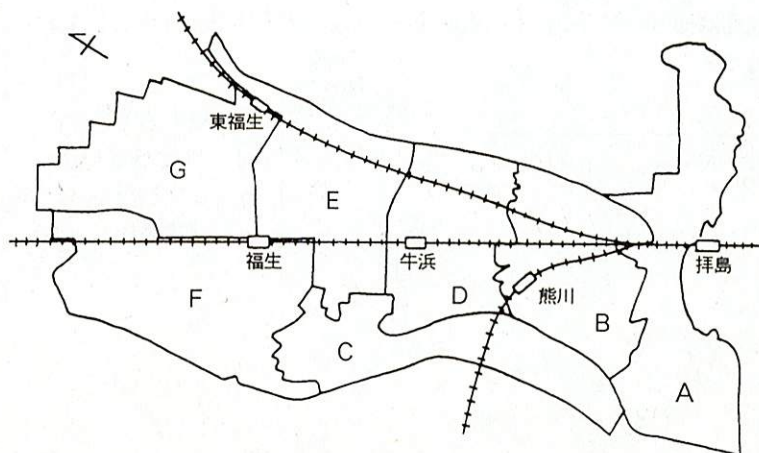
3. 調査結果

- | | |
|------------|----------------|
| (1) 標本数 | 1,000 (100.0%) |
| (2) 回収数 | 767 (76.7) |
| (3) 回収不能数 | 233 (23.3) |
| (4) 回収不能内訳 | 件 |
| 転居 | (19) |
| 住所不明 | (6) |
| 長期不在 | (24) |
| 拒否 | (45) |
| 一時不在 | (122) |
| その他 | (17) |

* 1地点1名の予備標本を追加抽出し、正規標本が転居、死亡、籍のみなどの理由で居住していない時に代替使用した。

4. ブロックの構成

地域特性を把握するため、前回(平成3年)調査の分類にしたがい、町会(地域)区域を下記7地域に分割した。



区 域	町 会 （ 地 域 ） 名
A ブ ロ ッ ク	熊川住宅自治会、南町会、内出町会、武蔵野町会、武蔵野第2町会、福東町会
B ブ ロ ッ ク	鍋1町会、鍋2町会、玉川台町会、富士見台自治会、福栄町会
C ブ ロ ッ ク	福生団地自治会、志茂1町会、南田園1丁目町会、南田園3丁目町会、他南田園地域
D ブ ロ ッ ク	熊牛町会、牛浜1町会、牛浜2町会
E ブ ロ ッ ク	志茂2町会、本町7町会、原ヶ谷戸町会
F ブ ロ ッ ク	本町1町会、本町2町会、本町3町会、中央町会、本町6町会、永田町会、 長沢町会、加美1町会、加美2町会
G ブ ロ ッ ク	加美平団地自治会、本町8第1町会、本町8第2町会、武蔵野台1丁目町会

5. この報告書の見方

〔注意事項〕

- 1) 表の中のnとは回答者総数（あるいは分類別の回答者数）のことである。
- 2) 百分比はnを100%として算出し、原則として「結果のあらまし」「結果の分析」では小数点第1位を4捨5入して整数とし、「質問と回答」は小数点第1位までの数字で紹介した。
- 3) 質問にとくに指示がない限り、回答は1つだけ答えるように要求した。
- 4) (M.A.)あるいは重複回答とは、回答が2つ以上ありうるという意味である。したがって、比率の合計は100%を越えることがある。
- 5) 〔回答票〕の記号のある質問は、回答を印刷した別のカードを対象者に見せ、回答をその中から選択するようにした。
- 6) 〔回答票〕の記号のない質問は、口問口答法によって調査が行なわれており、調査票を回答者に渡して記入してもらおうとか、答を読みあげたり、誘導したりするなどのことは一切していない。
- 7) 図表中0は4捨5入の結果を示し、－は回答者が皆無であることを示す。

〔標本誤差〕

下記に層化2段無作為抽出の場合の標本誤差の式と標本誤差の早見表を示した。なお、信頼度を95%とした計算式である。

$$b = 2 \sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \cdot \frac{p(100-p)}{n}}$$

$$\left\{ \begin{array}{l} b = \text{標本誤差} \\ N = \text{母集団の人数} \\ n = \text{比率算出の基数（回答者数）} \\ p = \text{回答の比率（\%）} \end{array} \right.$$

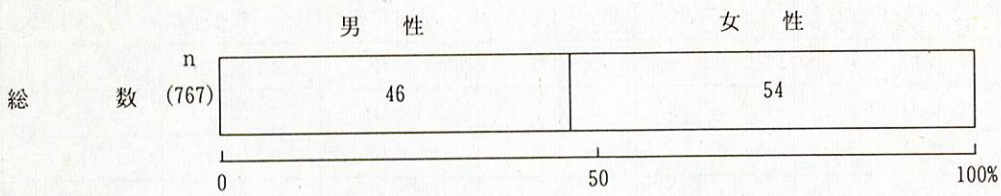
<標本誤差の早見表>

n	10%又は 90%前後	20%又は 80%前後	30%又は 70%前後	40%又は 60%前後	50%前後
市 全 体 (767)	± 3.1%	± 4.1%	± 4.7%	± 5.0%	± 5.1%
600	± 3.5	± 4.6	± 5.3	± 5.7	± 5.8
500	± 3.8	± 5.1	± 5.8	± 6.2	± 6.3
400	± 4.2	± 5.7	± 6.5	± 6.9	± 7.1
300	± 4.9	± 6.5	± 7.5	± 8.0	± 8.2
200	± 6.0	± 8.0	± 9.2	± 9.8	± 10.0
100	± 8.5	± 11.3	± 13.0	± 13.9	± 14.1

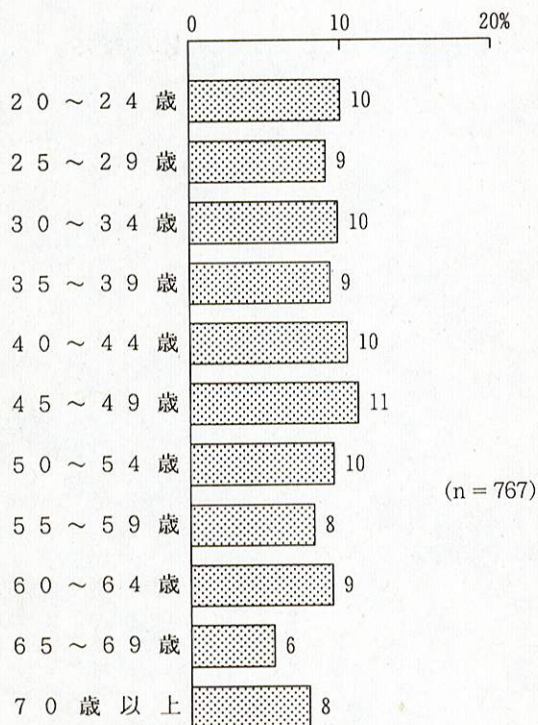
(注) 上表は $\frac{N-n}{N-1} \approx 1$ として算出した数値である。

6. 標 本 特 性

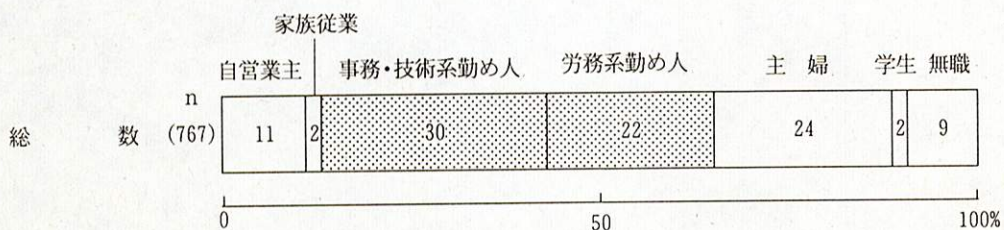
(1) 性別



(2) 年齢



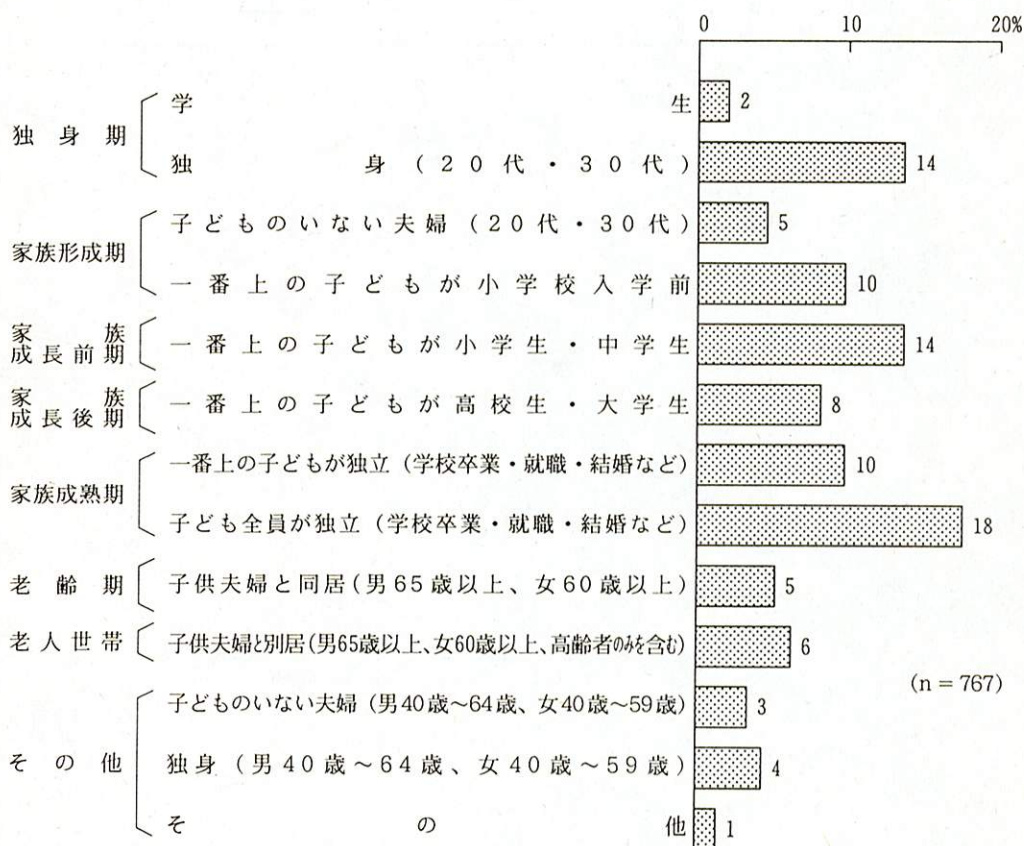
(3) 職業



(4) 通勤・通学地



(5) ライフステージ



(6) 住居形態

